

皆さんの希望です 請願・陳情

請願・陳情は、皆さんのご意見・ご希望を市政に反映させるための制度です。請願を行う権利は憲法で保障されており、地方議会では、法の定めにより議員の紹介を通して行わなければなりません。一方、陳情は、取手市議会では、議会議事規則第145条により、請願と同等に取り扱われることになっています。※請願・陳情の提出者の氏名については、公表の申し出があった場合のみ掲載いたします。

請願

●特定秘密保護法の廃止へ
意見書提出を求める請願：
採択

〔討論〕

齋藤議員：国の安全と国民の生命、身体、財産を守るためには法整備が必要である。決して国民の知る権利や報道の自由を規制するものではない。反対。

関戸議員：何が秘密か限定されていない。秘密の内容をチェックする機関が明らかになっていない。内部告発や記者、市民活動家を守る仕組みがない。賛成。

平議員：秘密指定のチェック第三者機関も指揮監督するトップは首相であり、身内で固めて第三者機関といえるのか。致命的な欠陥を持っている。賛成。

●介護保険制度「改悪」を中止し、制度の拡充を求める請願：不採択

〔討論〕

遠山議員：安倍政権の改革案は、社会保障制度を解体し、国民を自助へと追い込むもの。安心して介護が受けられる環境を。賛成。

池田議員：現状は、介護認定者の置かれている状況によって柔軟に対応されているが、要介護3以上に限定されると柔軟な対応ができなくなってしまう。賛成。

陳情

●学校給食の安全確保に関する陳情

①業者と食材の審査基準を明確にすること。

②納入業者の食品衛生監視表、食材（加工品）の規格書、検査証明書がないものは使用しないことを求めるもの。

〔提出者〕

齋藤 隆氏

〔採決結果〕

一部採択（①のみ採択）

〔討論〕

鈴木議員：給食の安全確保は待ったなし。何か事が起きてからでは遅い。厳し過ぎるといふ指摘は当たらない。賛成。

平議員：陳情に放射能の記載はないが、学校給食の検査を確立していかなければ社会は成り立たない。安全を願う。賛成。



学校給食センター（宮和田）での調理風景

●公園除染工事に関し地方自治法第98条による検査を求める陳情：不採択

〔提出者〕

坂巻弘始氏

〔討論〕

遠山議員：市民の不安な声には丁寧に応じていく必要がある。徹底した除染を要求する立場から賛成。

倉持議員：陳情者が（公共施設里親制度で）里親として管理している公園の除染に瑕疵があったという指摘であるから、きちんと精査すべき。賛成。

追跡！！平成25年中に採択した請願・陳情のゆくえ

平成25年中に議会が採択し、市や教育委員会に対応を求めて送付した請願・陳情について以下の報告を受けました。なお、紙面の都合上、抜粋・要約・補正しております。原文は市のホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

件名	処理状況	件名	処理状況
永山小学校通学路整備に関する請願書	<ul style="list-style-type: none"> 永山中前の歩道整備は、今年度中に完了予定。永山小前の歩道整備は難しく、看板設置、横断歩道塗り直し等、通行車両への注意喚起標示を実施した。また、通学路安全対策会議で車歩道分離路面標示等の対策を検討中。 京橋運送(株)前交差点道路改良工事の計画を進めている。 (下高井の三差路から東京鉄骨橋梁(株)までについて) 通行車両に対する注意喚起看板を設置した。県道バイパス工事と合わせて、通学路安全対策会議で検討中。 国道294号線拡幅は難しく、通学路の変更、学校、地域の方、警察の見守り等で対応していく。 	<p>取手駅バリアフリー化促進陳情</p> <p>草刈の徹底を求める決議に関する陳情</p> <p>道路改修に関する陳情</p>	<ul style="list-style-type: none"> JR東日本に県南常磐線輸送力増強期成同盟会としてバリアフリー化促進を要望している。 空き地の草刈りについては、土地所有者に対して文書による指導・勧告等を実施していく。(※市議会は4月7日に茨城県竜ヶ崎工事事務所に「県有地の草刈り等についての要望書」を提出) (道路舗装の打ち直し工事について) 当該路線で取手地方広域下水道組合の事業が行われる予定であり、その進捗に合わせて検討する。京橋運送(株)、永山中周辺については先行して工事を行う。
井野小学校・吉田小学校通学路整備に関する請願書	<ul style="list-style-type: none"> (井野屋敷の丁字路から井野の五差路までについて) 路面標示、看板設置で通行車両への注意喚起を図っている。また、通学路安全対策会議で車歩道分離路面標示等の対策を検討中。 (県道取手谷中線から青柳前口を通り取手東線までについて) 看板を設置し、スクールゾーンの塗り直しを検討中。また、路面の段差、車歩道分離路面標示等の対策を通学路安全対策会議で検討中。 	<p>学校給食の安全確保に関する陳情</p> <p>ことバスに関する陳情</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度から月1回、年11回提供していた米粉パンを学期ごとに1回増やし、年14回提供する予定。その後の提供回数が増については、児童生徒の喫食状況を見ながら検討していく。 取手駅東口ことバス停留所に、上屋とベンチを設置できるよう予算計上を協議している。(※平成26年度予算に計上済み) ことバスの運行については、バス事業者に接遇マニュアルの徹底を再度申し入れ、乗客に配慮した運行を行うよう協議した。
白山西小学校及び稲小学校の統廃合に関する請願書	<ul style="list-style-type: none"> 通学路の安全対策については、学校PTAを交え危険・未整備箇所の点検を行い、改善を図る。 生徒の心のケアについては、学年、学校PTA活動等交流活動により相互理解を深める。また、相談員を必要に応じて配置し、不登校、いじめ、対人関係トラブル、問題行動等の早期解決、未然防止を図る。 学区の区割りは、通学区域審議会の意見のもと、状況等を踏まえて検討する。 	<p>「市民の放射能被ばくに対する措置を求める陳情書」の速やかな実施を求める陳情書</p>	<ul style="list-style-type: none"> 県内の土壌や河川等における汚染状況調査は、国や県が実施しており、結果を踏まえ放射能対策を進めていく。 セシウムの検出限界値については、環境省、県とも1リットル当たり1ベクレルで実施しており、陳情で求める精度は必要ないと考える。 被ばく状況調査や住民の健康調査等は県等で行うべきと考えている。
取手駅乗降環境設備に関する陳情(陳情事項3を採択)	<ul style="list-style-type: none"> 関東鉄道取手駅については、エレベーター設置用地がなく、平成16年にエスカレーターを設置した経過がある。 JR東日本に県南常磐線輸送力増強期成同盟会としてバリアフリー化促進を要望している。 	<p>義務教育生徒の交通安全教育についての陳情</p>	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校とも、休日前、長期休業前、学期始めなどは重点的に全校集会等で指導しており、また、帰りの会でも交通事故に気をつけるよう繰り返し指導している。 通学時の交通指導については、担任外の職員が行っている。月初め等には、1週間程度分担して各地区の危険箇所等で立哨している。 下校時は、小学校は集団下校となっており、地域の方々や防犯サポーター等の協力を得ながら、教師も担当地区の途中まで下校指導を行っている。中学校は、職員が校門等で指導し、随時パトロールを実施している。
議会棟及び全庁舎のバリアフリー化陳情	<ul style="list-style-type: none"> 議場については、職員が移動を補助することで対応していく。 バリアフリー化については今後検討を行っていく。 分庁舎についてはエレベーターを設置できるよう予算計上を協議している。(※平成26年度予算に計上済み) 		